

# 未来を拓く人づくり推進事業報告

～台湾の文化を学ぶ～

平成23年3月27日から31日までの5日間、和寒町未来を拓く人づくり推進事業補助金を活用し、和寒中学校3年生6名が台湾へ行き、現地の同年代の学生との交流をおし価値観や、考え方、文化に触れ、様々な事を学ぶことができました。

今回は、参加者6名を代表して加藤翔華さんの感想を掲載します。また、参加者全員の感想文を公民館で閲覧することができます。

## ●研修参加者

和寒中学校3年生

稲安輝 叡くん  
酒向航くん  
渡邊一宝くん  
今北花怜さん  
岡ななみさん  
加藤翔華さん



台湾の学生と記念写真

前列左から 加藤さん 今北さん 岡さん  
酒向くん 渡邊くん 稲安くん

## ～ 国際交流研修事業に参加して ～

加藤翔華

私達は3月27日から31日までの5日間、国際交流研修で台湾に行ってきました。私にとって初の海外だったので、何日も前からずっと楽しみにしていました。台湾に行ってみると、全部が日本と違うことばかりで、始めは少しとまどったけど、だんだんと慣れてきました。

特に不便だと思ったのはトイレです。トイレトーパーが流せないの、ゴミ箱に捨てなければいけません。なので、日本のトイレはとても使いやすかったです。他にもテレビで日本のCMが放送されていたり、コンビニで日本の商品が売っていたりして、日本はやっぱりすごいと思うことがよくありました。

台湾に行って1番印象に残ったことは、やはり学校交流です。台北の中学校に行ったときは、私たちは英語と理科の授業を受けました。台湾の子たちは、英語がとても上手でいいなと思いました。英語の授業は先生も全部英語で話していました。隣にいた子が私に何か英語



現地での授業参加の様子

で話してきたけれど、私は全然分からなかったの、答えることができませんでした。高雄の学校は生徒数が約5,000人という学校で、校内を案内してくれた先生でもコンピューター学科を見つけることができないくらい大きな学校でした。日本語を習っている人がたくさんいて、一緒に話したりしました。学校交流はとても楽しく、いろんなことを交流することができました。台北で歴史的建造物の見学をしたことや、町の中を歩いたこと、夜市に行ったことも印象的です。中正記念堂には、絶対に動かない兵隊がいて、すごいなと思いました。故宮博物院では、白菜の石と角煮の石がありました。これは、1つの石を削って作ったというものでした。近くで見ても本物そっくりでした。台湾の町中や夜市は人がとてもたくさんいて、賑やかでした。日本と違うなと思ったことは、バイクやスクーターの数が多くことです。車の数と同じくらいバイクやスクーターがたくさんありました。食べ物も日本よりたくさんフルーツが売ってました。

私は今回、この台湾の旅行でたくさんを学び、感じました。日本以外の事を知ることで、改めて世界の広さを知りました。自分の将来のためにもとても良い経験になり、夢が広がりました。5日間のこの研修はとても短く感じました。もっと台湾にいたかったなと今でも思っています。今回台湾に行ったときは、中国語が全くわからなかったの、中国語を勉強してもう一度台湾に行きたいです。

とても楽しくて、ためになる経験ができて、台湾に行って本当によかったと思います。